

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

発行者：飯豊連峰保全連絡会

■平成 29 年度 飯豊連峰保全連絡会合同保全作業の報告について

平成 29 年 9 月 9 日（土）～9 月 10 日（日）、種蒔山付近において、第 19 回会合で決定された合同保全作業が行われました。作業箇所はアクセスルートが多様な為、現地集合・解散としました。2006 年に実証実験として種蒔山分れ上部の笹地に拓いた登山道が、10 年を経過し侵食が激しくなっているので、上部は侵食を抑える施工をし、途中からはつづらを折ったルートに付替え、侵食が進んだ区間を封鎖しました。

【実施スケジュール】

9/9(土)天候 晴れ	9/9 班長等事前打合せの様子	9/10(日)天候 晴れ
各自登山 14:30 種蒔山分れ 班長及び事務局 現場確認及び施工法 検討 三国、切合、本山小屋に分かれて宿泊		7:00 班長 種蒔山分れ着 7:30 班分け、保全作業開始 保全作業 11:05 作業終了・ふりかえり 11:30 解散

作業は 5 班に分かれて行き、御沢に崩落していた土砂と、ケルンとして積まれていた石、巻道開設によって生じたネマガリダケを現地材料とし、あらかじめ荷上げた椰子ネット・椰子土嚢・椰子繊維さらには金網などを組み合わせて排水や土留を施工しました。



【開会式】



【急斜面に貼りつき手渡しで土砂を運ぶ】



【ケルンの石を土嚢袋に入れて運ぶ】



【最上部の排水設備】



【笹原に巻道を拓く】



【土囊による階段】



【石を使った小ダム】



【石ダムを作っているところ】



【○印部分が、今回作った新道】



【当日集合写真】

作業終了後には、全員で施工箇所の確認を行い、菊池氏（山形大学農学部）と川端氏（（株）ニュージェック）による講評をいただきました。今回の合同保全作業では、幹事の平野氏（飯豊AGC）より、統括リーダーとしての指揮監督、資材の運搬手配、宿泊等子細に渡ってご尽力いただきました。

【参考ホームページ】

- ・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
（飯豊連峰保全連絡会の会則やニュースレター等）
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
- ・東北地区アクティブレンジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>

当日の作業に加え、事前の資材荷上につきましても、大勢の方々にご協力いただきました。作業に関わっていただいた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係・地域関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。《当日は14団体、42名の方々の参加がありました。》

【発行者】

飯豊連峰保全連絡会（事務局）羽黒自然保護官事務所（^{しももと}下本、^{しぶや}澁谷）

〒997-0141 山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777 ・ 080-2801-0648 FAX : 0235-62-4537 E-mail: RO-HAGURO@env.go.jp